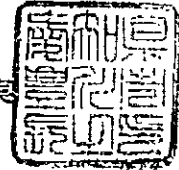


豊 都 第 5 4 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長
金 井 道 夫 殿

豊川市長 山脇 実



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたみだしのこと
につきまして、別紙のとおり提出しますのでよろしくお願いいたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県 豊川市

道路の整備は、地域の産業・経済の発展のほか、広域的な地域間連携、文化交流等を促すとともに、活力と魅力ある地域づくりを推進し、安全で安心なまちづくりの実現や高次医療施設への広域的アクセスの強化を図るために必要不可欠なものであります。

こうした中、建築物等が密集した市街地内の道路整備は、コスト・時間がかかるため、環状道路・バイパス道路など市街地周辺の道路の整備を進めることで、市街地内の交通渋滞緩和・交通事故解消も図れることから、周辺道路の整備を優先することも考えられます。まちづくりを進めるため、国道・県道などの整備に関連して周辺市道を整備する場合（例：裏道対策など）に対する新たな補助制度を検討することも必要と考えます。また、道路整備の効率化を図るために、道路の規格など整備の基準を地域の実情にあった運用が可能なシステムを検討することも必要ではないかと考えます。さらに、交通量の増大に伴う騒音や振動など環境面のほか、日常的な維持管理に対する住民要望は年々増大していることから、管理面の予算確保についても十分な配慮が必要と考えます。

地方におきましては、道路整備や維持管理の財源に多くの一般財源を投入している実情の中で、地方が真に必要としている道路の整備が計画的かつ着実に進められるよう道路整備財源の安定的確保と、地方財源の充実強化を図るとともに、暫定税率の失効期間中の減収に対する適切な財源措置を講じるよう要望いたします。

②-1 地域の現状と抱える課題

愛知県 豊川市

○現状

国県の方針に沿った市町村合併が進む中で、豊川市は、平成18年2月に一宮町と、平成20年1月に音羽町・御津町と合併し、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を新市の将来像として、新たなまちづくりを推進しています。

本市の中央を東名高速道路が東西に横断し、豊川ICと音羽蒲郡ICの2つのICが広域交通道路網への玄関口となっており、さらに、山間部で新東名高速道路の建設が進んでおります。

また、国道1号、国道23号及び国道151号が本市の基軸道路となっており、これら国道に接続する主要地方道の東三河環状線の整備を進めていただいております。

こうした中、本市の最重要課題として、新しい市民病院の早期建設に向けて、全庁的な取り組みを進めております。

○課題

合併による新たなまちづくりとして、活力と魅力ある地域づくりを進めるため、一般国道23号名豊道路を始め、国道151号一宮バイパスなどの広域幹線道路の整備を進めるとともに、喫緊の課題である地域の中核的な病院による医療体制の連携強化のためにも、道路整備を一層促進する必要があります。

東三河地域の産業・経済の発展のためには、名豊道路の整備が急務となっており、特に、平成19年度に事業化された「蒲郡バイパス」は当該路線の中で最後に事業化された区間であることから、事業効果を高めるためにも早期の整備が必要であります。

また、高齢社会において、地域医療の果たす役割が重要となっている中、新城・奥三河方面からの患者搬送も多く、命の道として、国道151号一宮バイパスの早期整備が必要であります。

②－２ 地域の目指すべき将来像

愛知県 豊川市

合併による新市が目指す都市構造は、豊かな自然環境を保全・活用すべき地区、住みよい暮らしを提供していく地区などの面的な「ゾーン」と地区の顔となるべき「拠点核」、これらのゾーンや拠点核を結びつけ、地域の結びつきを強化する「軸」によって構成していきます。この「軸」の中心となる「広域交流軸」としての高速道路、「地域連携軸」としての地域幹線道路などを位置づけ、各軸ともに各拠点をつなぐ道路ネットワークを形成し、周辺市町との連携、交流及び新市の一体的なまちづくりを目指します。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県 豊川市

○重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 一般国道23号「名豊道路」の早期整備 ・ 主要地方道「東三河環状線」の早期整備 ・ 国道151号一宮バイパスの早期整備	・ 東三河地域の経済・産業活動の発展 ・ 国道1号の慢性的な渋滞の緩和 ・ 東三河地域の主要な環状道路として、道路ネットワークの要 ・ 市街地の渋滞緩和の最重要路線 ・ 東三河縦貫道路（軸）の主要路線として、「東三河1時間交通圏」の確立 ・ 地域医療の連携の要となる「命の道」	